



笑顔輝く新居浜人を紹介

## 廃校プールで効率的な養殖を模索

vol.81

スマート養殖実験アドバイザー  
白石悠さん



ホンモロコ

ワクリエ新居浜で、ICTを使った養殖技術の開発が進められています。廃校となった小学校の25mプールを活用する試み。アドバイザーとして養殖実験の現場を任されて

いるのが白石さんです。

事業は昨年11月にスタート。プールには育てやすいという淡水魚ホンモロコ約2千匹を放ち、水温や水中の酸素濃度などを測る機器を設置し

ました。測定データはスマー

トフォンに送られ、いつでも水の状態を確認できます。このシステムを確立させ、人件費削減や効率的な養殖につなげるのが狙いです。「魚の病気予防には人の出入りが少ない方がいい。総合的にみてもスマホでの管理は最適です」

幼少期から生き物への関心は人一倍。特に興味を持ったのがコイ科の魚でした。大学では淡水魚の繁殖を専攻。古里新居浜に戻り、養殖事業を立ち上げる準備を進めていたところ、声が掛かりました。

子どもたちへの環境教育にも力を注ぎ、5月には水辺の絶滅危惧種を紹介する企画展を実施。展示を大幅に増やした移動水族館も計画中です。「展示を通じ、自然の循環や環境問題について伝えていきたい」と意気込んでいます。



広告欄